

衆議院厚生労働委員会ニュース

【第198回国会】平成31年3月19日（火）、第4回の委員会が開かれました。

1 厚生労働関係の基本施策に関する件（毎月勤労統計調査等）

- ・根本厚生労働大臣、鈴木総務副大臣、大口厚生労働副大臣、上野厚生労働大臣政務官及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。

（参考人）元厚生労働省大臣官房統計情報部長

姉崎猛君

元厚生労働省政策統括官

酒光一章君

厚生労働省前政策統括官

大西康之君

毎月勤労統計調査等に関する特別監察委員会委員長代理

荒井史男君

（質疑者）大串博志君（立憲）、尾辻かな子君（立憲）、西村智奈美君（立憲）、山井和則君（国民）、岡本充功君（国民）、高橋千鶴子君（共産）、串田誠一君（維新）、中島克仁君（社保）、国光あやの君（自民）、高木美智代君（公明）

（質疑者及び主な質疑事項）

大串博志君（立憲）

- （1） 「平成30年1月分調査 第一種事業所部分入替え指定予定事業所について」と題する資料関係
 - ア 当該資料の存否
 - イ 当該資料らしき資料が存在する可能性
- （2） 毎月勤労統計の改善に関する検討会報告書案関係
 - ア 平成27年9月14日における報告書案の修正作業の状況からこれまでの政府参考人の答弁を訂正する必要性
 - イ 同日の姉崎参考人から当時の担当課長補佐に対する修正指示の内容
 - ウ 姉崎参考人が覚えていないとした指示内容と修正作業に係る政府参考人の答弁との矛盾
 - エ 姉崎参考人からの指示に関する当時の担当課長補佐の記憶の正確性に対する疑念
- （3） 毎月勤労統計調査を巡る不適切な取扱いに係る事実関係とその評価等に関する追加報告書関係
 - ア 抽出調査となっていた東京都分のデータの復元に係るシステム改修を平成29年5月まで行わなかった理由の妥当性
 - イ 荒井参考人の答弁補助を行っている者の所属
 - ウ 「誤差は小さい」旨の陳述に対する特別監察委員会における検証の有無
 - エ 「然るべき手続きを踏んで修正すべき」旨の政策統括官からの指示を放置した経緯についての確認状況
 - オ 組織的隠蔽の有無に対する特別監察委員会の認識
 - カ 追加報告書に対する統計委員会委員からの意見書で求められている情報提供への対応方針
 - キ 人選を見直した上で新たな第三者委員会を設けて調査をやり直す必要性

尾辻かな子君（立憲）

- （1） 毎月勤労統計調査等に関する特別監察委員会関係
 - ア 毎月勤労統計の改善に関する検討会と重複して構成員となっている者の有無
 - イ 毎月勤労統計の改善に関する検討会の参加者が構成員となっている特別監察委員会の客観性への疑問
- （2） ベンチマーク更新の際の遡及改訂関係
 - ア 遡及改訂を行わないことの事前協議はなかった旨の北村統計委員長代理の答弁と総務省と厚生労働省の統一見解との齟齬

- イ 厚生労働省において遡及改訂を行わないことを決定した過程の詳細
- (3) 誤差率の推移を見ると公表していた調査対象事業所数に比べて実際に調査した事業所数が約1割少なくなっていることが1990年代から行われていた可能性
 - (4) 30～499人規模の事業所の誤差率の変動を見ると抽出表どおりの抽出率となっていない可能性

西村智奈美君（立憲）

- (1) 毎月勤労統計の改善に関する検討会関係
 - ア 兼業規定に反するため廣松委員を協力者として参加させていたことの是非
 - イ 協力者として参加させることの決定権者
- (2) ベンチマーク更新の際の遡及改訂関係
 - ア 毎月勤労統計の改善に関する検討会の中間的整理で遡及改訂を行うとされていたにもかかわらず厚生労働省において遡及改訂しないと決定した時期及び経緯
 - イ 遡及改訂しないこととした時点の統計部署の責任者
- (3) 大規模事業所における「適切な復元処理」という用語の使い方の妥当性

山井和則君（国民）

- (1) 平成30年の賃金の伸び率はウエイト更新時のギャップを差し引いた名目賃金1.0%、実質賃金マイナス0.2%になることの確認
- (2) 共通事業所系列の賃金の伸び率が上振れしている可能性の有無
- (3) 平成30年の各月の景気指標としての賃金伸び率は共通事業所系列の伸び率を重視することの確認
- (4) 平成30年の年平均の名目賃金の伸び率として本系列の数値を公表することの妥当性
- (5) 毎月勤労統計の「共通事業所」の賃金の実質化をめぐる論点に係る検討会関係
 - ア 平成30年の実質賃金の伸び率はマイナス0.3%でありこれを公表すべきとの明石参考人の主張を論点整理に明記する必要性
 - イ 明石参考人の主張を論点整理へ掲載しない理由及び妥当性
 - ウ 実質賃金等の伸び率を公表する権限の有無

岡本充功君（国民）

- (1) 医療用麻薬服用中の患者の海外渡航関係
 - ア 患者が安全に海外渡航できるよう厚生労働省と外務省が協力して渡航先の規制状況等の情報を提供する必要性
 - イ 外務省と強力して患者に対し情報提供することへの厚生労働大臣の決意
- (2) 毎月勤労統計調査等に関する特別監察委員会関係
 - ア 委員への謝金の予算額に見合う委員会の開会回数
 - イ 他の予算から謝金に用いる予算への流用の有無
 - ウ 委員への謝金に用いる予算の上限額
 - エ 予算の制約により委員会の開会数が制限されることを委員に伝えた事実の有無
 - オ 追加調査に関する日程感を委員に伝えた事実の有無
- (3) 家計調査関係
 - ア 家計調査家計簿の記載方法
 - イ 抽出世帯の調査への協力状況
 - ウ 全数調査である国勢調査と標本調査である家計調査における「最初に抽出された世帯」と「実際

- に調査された世帯」の世帯主の年齢階級分布に関する統計的な有意差の有無
- エ 本調査は無作為抽出で行っているとの説明への疑問
 - オ 基幹統計の点検において本調査の抽出方法の問題を報告しなかった理由
 - カ 調査可能な世帯を確保するまで抽出を繰り返す方法は無作為抽出ではないとの指摘に対する総務省の見解

高橋千鶴子君（共産）

- (1) 追加報告書に対する統計委員会委員からの意見書関係
 - ア 統計委員会における位置付け
 - イ 「再発防止策は適切か」との指摘に対する荒井参考人の受止め
- (2) 毎月勤労統計の改善に関する検討会関係
 - ア 中間報告における「増減率はその時点における政策判断や評価をする際に用いられた正しいと判断された情報」という表現は遡及改訂しないことを意味することの確認
 - イ 官邸に言われたからではなく、自分自身で遡及改訂を行うことを決めていたとの姉崎参考人の答弁の確認
- (3) 毎月勤労統計調査の共通事業所の賃金指標関係
 - ア 一定の説明を付した上での共通事業所の実質賃金の公表の可否
 - イ 平成28年3月24日経済財政諮問会議以前における共通事業所の継続標本による参考指標に関する議論の有無
 - ウ 本年2月22日の毎月勤労統計調査確報において共通事業所の参考指標を公表していない理由

串田誠一君（維新）

- (1) 統計調査の連続性についての重要性に対する厚生労働大臣の認識
- (2) 厚生労働省のガバナンスを向上させるための具体的取組
- (3) 毎月勤労統計の大規模事業所の調査手法において全数調査を行う意義

中島克仁君（社保）

- (1) 厚生労働省のガバナンス関係
 - ア 3月8日の総務省行政評価局「賃金構造基本統計問題に関する緊急報告」におけるコンプライアンスの欠如等の厳しい指摘に対する厚生労働大臣の受止め
 - イ 厚生労働省のガバナンス強化に向けた具体的取組
- (2) 特別監察委員会の当初の報告書を受けて行った処分の妥当性

国光あやの君（自民）

- (1) 毎月勤労統計調査の不適切な取扱いを受けて3月18日分から開始された雇用保険の追加給付を円滑に行う必要性
- (2) 国民に必要な情報が届くよう厚生労働省の広報体制を強化する必要性
- (3) 厚生労働省の組織の立て直しの必要性
- (4) 学校における税金の使い途や社会保障に関する教育を充実させる必要性
- (5) 医師法第21条による異状死の届出関係
 - ア 届出の基準の作成に対する厚生労働省の考え
 - イ 警察の介入により医療現場が萎縮するとの指摘に対する警察庁の認識及び警察官の対応基準の有

無

(6) 公立福生病院の人工透析中止事例についての厚生労働省の見解及び対応策

高木美智代君（公明）

(1) 毎月勤労統計調査の共通事業所の賃金指標関係

ア 本系列と異なる共通事業所の集計値の特性

イ 本系列で実質賃金指数が既に公表されていることの確認

ウ 「毎月勤労統計の「共通事業所」の賃金の実質化をめぐる論点に係る検討会」の今後の見通し

エ パートタイム労働者等が増加している環境下において重視すべき賃金指標

(2) 幼児教育の無償化に伴う食材料費の取扱いが利用者の実質的な負担増とならないようにする必要性

2 医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部を改正する法律案（内閣提出第25号）

・根本厚生労働大臣から提案理由の説明を聴取しました。